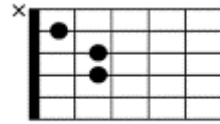
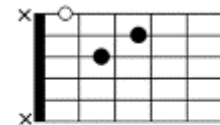


秋桜—コスモス—「山口百恵」
 作詞、作曲、さだまさし

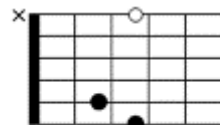
Am Dm
 薄紅のコスモスが秋の日の
 G C E7
 何気ない陽だまりに揺れている
 Am G
 この頃涙もろく なった母が
 F Em Am
 庭先で ひとつ 咳をする
 Am Dm
 縁側で アルバムを 開いては
 G C E7
 私の 幼い日の 思い出を
 Am G
 何度も同じ 話 繰り返す
 F Em F E7
 ひとり言 みたいに 小さな 声で
 Am Dm
 こんな 小春日和の 穏やかな日は
 G G7 C E7
 あなたの 優しさが 沁(シ)みてる
 Am Dm
 明日嫁(トツ)ぐ私に 苦勞はしても
 Am G
 笑い話に 時が変えるよ
 F G Am
 心配 要らないと 笑った



Am



Dm



G

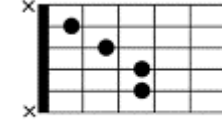


C

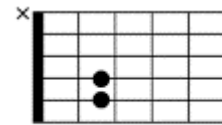


E7

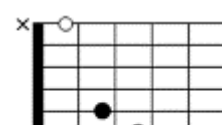
Am Dm
 あれこれと 思い出を たどったら
 G C E7
 いつの日も 一人では なかったと
 Am G
 今更ながら 我儘(ワガママ)な 私に
 F Em Am
 唇 噛んで います
 Am Dm
 明日への 荷造りに 手を借りて
 G C E7
 しばらくは 楽しげに いたけれど
 Am G
 突然 涙 こぼし 元気でと
 F Em F E7
 何度も 何度も 繰り返す 母
 Am Dm
 ありが どの言葉を 噛み締めながら
 G G7 C E7
 生きて みます 私なりに
 Am Dm
 こんな 小春日和の 穏やかな日は
 Am G
 もう少し あなたの
 F G Am
 子供で いさせて ください



F



Em



G7